

自己評価・外部評価 評価表【巡回訪問サポートセンター三光園 2022年度】

(別紙1)

タイトル 番号	タイトル	番 項 号 目	項 目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	外部評価に 対するコメント
				実施状況						
				でき ている	ほぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全 く でき てい ない			
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]										
(1) 理念の明確化										
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			「その人らしい生活の維持」を指標として利用者のQOLの向上を目指し、実現に向けての努力を日々行っている。	・事業所独自の理念を掲げ実現に向けて努力をされていると思われる。 ・事例検討などで質の向上に努めていると分かる。	
(2) 適切な人材の育成										
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			理念についての理解と技術向上を目的に各種研修を事業所内で行っている。	・定期的に研修を行う事が出来ていると思います。 ・職員、管理者で周知しており各種の研修で認識できていると思われる。	
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している				○	年間研修計画に沿った研修会の実施やZOOM等を用いた外部の研修に参加出来るように努めている。	・コロナの影響で会議や研修が難しい事もあるがZOOM等で研修が出来ていると思います。 ・ZOOM等を活用して更に研修に参加しやすくなったと思われ研修の機会を確保出来ていると思われる。	
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している				○	人事評価や勤務態度等による能力の把握を行い配置の検討や指導を行っている。	・個々の職員の能力が最大限発揮できる様に今後も配慮をお願いします。 ・管理者は充分職員へ指導が出来ていると思われる。	
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			介護職と看護職との情報共有を密に行っている。	・情報共有は密に行う事が出来ていると思います。必要時は電話やメールで情報交換を行っています。 ・情報共有出来ている。	

自己評価・外部評価 評価表【巡回訪問サポートセンター三光園 2022年度】

(別紙1)

タイトル 番号	タイトル	番 項 号 目	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	外部評価に 対するコメント
				実施状況						
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て ない こと が多 い	全 く でき て ない			
(3) 適切な組織体制の構築										
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適かつ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている		○			利用者のニーズを理解し、柔軟なサービス提供を実施できるようシフト調整等を行っている。	・利用者や家族の要望に応じた人材配置が出来ていると思います。 ・限られた人数の中でシフト調整をよく行えていると思う。	
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			推進会議で頂いた意見や助言を職員間で共有しサービス向上に努めている。	・会議内の意見や助言を反映させ改善することが出来ていると思います。 ・毎回、議事録などを残していると思うのできちんと意見等反映出来ていると思う。	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備										
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				ICT等の活用により個人情報管理に十分な配慮を行いながら関係者間での情報共有を行っている。	・必要時には十分な情報共有が出来ていると思います。状態変化があった時はすぐに報告してくれて助かっています。 ・ICTを実際使っているのを見たことがありしっかりと情報共有出来ていると思われる。	
(5) 安全管理の徹底										
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			緊急時マニュアル、緊急連絡網の周知を行い職員の安全確保に役立っている。また、BCP（事業継続計画）の策定を行っている。	・安全確保の為の対策、対応が出来ていると思います。 ・BCP計画随時検討し追加修正など行っていただく。	
②	利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報保護の為の講習を行い管理の徹底を行っている。	・個人情報の取り扱いについては十分配慮する事が出来ていると思います。 ・管理徹底できている。	

自己評価・外部評価 評価表【巡回訪問サポートセンター三光園 2022年度】

(別紙1)

タイトル 番号	タイトル	番号 項目	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	外部評価に 対するコメント
				実施状況						
				でき ている	ほぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全く でき てい ない			
<b>II 過程評価 (Process)</b>										
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供										
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成										
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				ADLを把握し適切な提案が出来るように努めている。	・個人個人に合わせた提案が出来ていると思います。 ・アセスメント表を見る限り行えている。	
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				ICTの活用により都度の情報共有が出来ている。	・必要時は都度情報共有が出来ていると思います。 ・ICT活用されているので共有可能と思われる。	
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			その人らしい生活を送れる様柔軟なケアプランの作成を心掛けている。	・個人個人に合わせたプランの作成が出来ていると思います。	
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			在宅生活における日々の状態観察とリスクの予測、管理に留意している。	・重度化しても利用者や家族の意見を尊重した計画作成が出来ていると思います。 ・連携して行えていると思われる。	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し										
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状況変化に応じ、必要、かつ迅速に対応できるよう努めている。	・緊急時等に迅速に対応することが出来ていると思います。 ・必要に応じて緊急でも当日動いてくれ柔軟である。	
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				日常生活の把握と軽度の状況変化に気付け適切な対応が出来ている。	・状態の変化に応じて計画変更が出来ていると思います。 ・計画書を見る限り適宜反映行えている。	

自己評価・外部評価 評価表【巡回訪問サポートセンター三光園 2022年度】

(別紙1)

タイトル 番号	タイトル	番 項 号 目	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	外部評価に 対するコメント
				実施状況						
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多 い	全く でき てい ない			
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供										
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○				看護と介護の観点をそれぞれ共有し適切なサービスを提供出来ている。	・専門性を活かした役割分担が出来ていると思います。 ・それぞれ役割に応じて分担し行動できていると思われる。	
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				利用者に関する的確な助言、指導を受けている。	・利用者の状態が変化した時や予後予測等について電話連絡を行っています。 ・指導や助言が行われていることで利用者が健康上問題なく過ごせていると思われる。	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有										
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			利用者や家族等に提供出来るサービス内容の説明を十分に行い、理解を得られるように努めている。	・必要に応じて説明することが出来ていると思います。	
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画責任者等が説明を行い、署名を頂いている。	・利用者や家族に十分な説明が行えていると思います。	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				利用者の状況変化について都度の報告、相談等を行い、適切な対応が出来ている。	・必要時、適切な報告、相談が行えていると思われる。	

自己評価・外部評価 評価表【巡回訪問サポートセンター三光園 2022年度】

(別紙1)

タイトル 番号	タイトル	番 号 目	項 目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	外部評価に 対するコメント
				実施状況						
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき ない こと が多い	全 く でき ない			
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント										
(1) 共同ケアマネジメントの実践										
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				状態変化に応じて多職種との連携によりサービス内容を変更を行っている。	・多職種との連携を図り情報共有は出来ていると思います。必要時はケアプランの提案も出来ていると思います。 ・サービス提供日時はあらかじめ決められており予定通り実施できている緊急対応も出来ている。	
		23	計画の目標達成のために必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			社会資源の活用により、利用者のQOLの向上を図れるよう都度、提案するように心掛けている。	・利用者が生活する上で必要なサービスの提案は出来ていると思います。	
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				担当者会議等において、各職種の観点から情報提供、意見の交換を行っている。	・担当者会議の時だけでなく必要時はその都度情報提供が行われていると思います。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献										
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス)インフォーマルケア等の活用を含む)について必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	○				インフォーマルケアを含む社会資源を活用しながら、利用者が豊かな在宅生活を継続できるよう、多職種と連携し、評価、検討を行っている。	・多職種との連携を図り検討する事が出来ていると思います。	
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			院内カンファ等に参加し情報共有を各職種と行うことにより、こまめな看護、介護のサービス提供を行えている。	・コロナ禍で退院した等、開催されにくい状況でしたがZOOMや文章等で情報共有はできていたと思います。 ・入退院があってもカンファなど事前の打ち合わせで情報共有が行われている。	
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し共有がされている(※任意評価項目)			○		地域との密着性が掴めず、連携の薄いサービス提供となっており、体制の構築が出来る様努力していく。	・会議等で検討し共有する事が出来ている。 ・今後も色々工夫して取り組んでほしい。	

自己評価・外部評価 評価表【巡回訪問サポートセンター三光園 2022年度】

(別紙1)

タイトル 番号	タイトル	番号 項目	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	外部評価に 対するコメント
				実施状況						
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき ない			
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画										
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案										
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			事務所にて閲覧可能。	・会議記録のコピーを頂けると職員への伝達が行いやすいです。 ・今後機会があれば事務所に立ち寄りたい。	
		29	当該サービスの概要や効果等についての地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		病院や居宅介護支援事業所等での宣伝活動を中心に行っている。	・積極的に活動をされていると思います。 ・今後も宣伝活動に努めてもらいたい。	
(2) まちづくりへの参画										
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			地域包括ケアシステムについて十分に理解し実行できる様に努めている。	・十分に理解し実行できていると思います。	
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				主に地域に出てサービスを展開できるよう心掛けている。	・人材確保が可能であれば耶馬溪などもサービス提供エリアに入れて欲しいと思います。 ・在宅が多いようなので地域に広く展開しているように思われる。	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点からまちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)	/	/	/	/	/	/	/
III 結果評価 (Outcome)										
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				「その人らしい生活の維持」を目標に工夫、創意を繰り返しながら計画している。	・計画目標達成の為、一人一人に合ったサービスが行えていると思います。 ・ICTを通して見せてもらう限り目標計画がしっかり立案されていると思う。	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				住み慣れた場所での生活を継続して行えていることに安心と意欲の継続を得ている。	・24時間体制である為、利用者、家族共に安心感があると思います。 ・サービスの導入で在宅生活が継続でき安心感が得られていると思われる。	